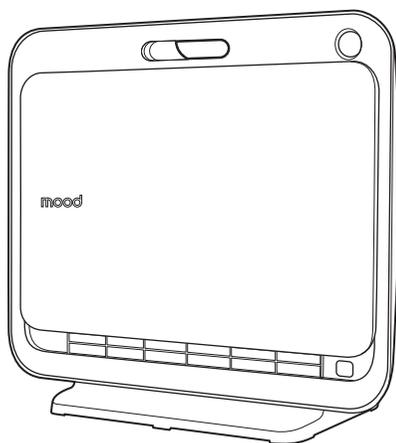


人感センサー付きスリムセラミックヒーター MOD-CH1305

取扱説明書・保証書

このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。正しくご使用いただくために必ずこの取扱説明書をよくお読みください。なお、お読みになられたあともいつでも見られるように大切に保存してください。



も く じ

安全上のご注意 P. 2～3
各部の名称とはたらき P. 4
正しい使いかた P. 5～8
お手入れと保存 P. 9～10
修理・サービスを依頼する前に P. 11
アフターサービスについて 裏表紙
保証書 裏表紙

仕 様

型 名	MOD-CH1305
電 源	AC100V 50/60Hz
消費電力	強 1200W / 弱 600W
ヒーター	PTC ヒーター
安全装置	転倒オフスイッチ（内蔵タイプ） / 温度ヒューズ / サーモスタット
電源コード長さ	約 1.8m
外形寸法	約 幅 480 × 奥行 157 × 高さ 408mm
質 量	約 3.1kg
付属品	フィルター × 1（本体に取り付け済）、リモコン × 1、リモコン用コイン形リチウム電池（CR2032） × 1、取扱説明書・保証書 × 1

- 仕様等は改善・改良のため、予告なく変更することがあります。
- この製品を使用できるのは日本国内のみで、海外では使用できません。
(This unit can not be used in foreign countries as designed for Japan only.)

安全上のご注意

- ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに、必ず保存してください。

 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示します。 (物的損害とは、家屋・家財・家畜・ペット等にかかわる拡大損害を示します。)

図記号の意味と例

	⊘は、「してはいけないこと」を意味しています。具体的な禁止内容は、⊘の中や近くに絵や文章で示しています。(左図の場合は、「分解禁止」を示します。)
	●は「必ずすること」を意味しています。具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示しています。(左図の場合は、「電源プラグをコンセントから抜くこと」を示します。)

警告

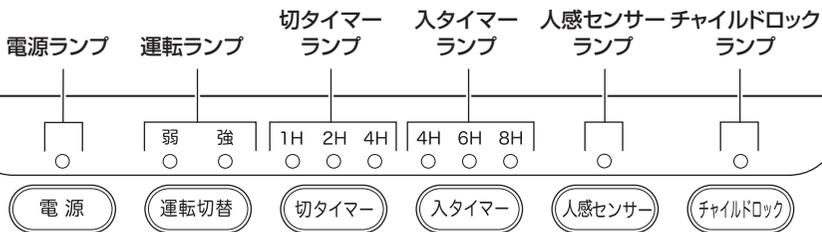
 禁止	交流100V以外では使用しない。 火災・感電の原因になります。	 指示	電源プラグはコンセントの奥までしっかり差し込む。 感電・ショート・発火の原因になります。
	電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、重いものを乗せたり、挟み込んだりしない。 火災・感電の原因になります。		定格15A以上の壁コンセントを単独で使う。 他の器具と併用するとコンセント部が異常発熱して発火することがあります。
	電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。 感電・ショート・発火の原因になります。	 プラグを抜く	電源プラグの刃および刃の取り付け面にホコリが付着している場合はふきとる。 ホコリが付着したまま電源プラグを差し込むと、ショート・火災の原因になります。
	子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところでは使用しない。 けがやけど・感電の原因になります。	 分解禁止	リモコン用の電池からもれた液が目に入ったときは、こすらずに水で洗い流し、医師の診察を受ける。 失明や目に障害を負う恐れがあります。
	本体のすき間にピンや針金などの金属物等、異物を入れない。 感電・けがの原因になります。		使用後は電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。 火災や故障の原因になります。
	スプレー缶などを本体の近くに置かない。 爆発や火災の原因になります。		お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜く。 感電・火災・けがの原因になることがあります。
	本体に衣類やふとんなどを掛けて使用しない。 過熱して火災、やけどの原因になることがあります。	 ぬれ手禁止	分解しない。また、修理技術者以外の人は修理しない。 火災・感電・けがの原因になります。修理は販売店またはドウシヤサービスセンター(裏表紙参照)にご相談ください。
就寝中は使用しない。 寝具などが触れて火災の原因になります。	 水ぬれ禁止	ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない。 感電の原因になります。	
 使用禁止	異常時(こげ臭い、発煙など)は電源プラグを抜き、使用を停止する。 火災・感電の原因になります。		水につけたり、水をかけたりしてぬらさない。 ショート・感電の原因になります。

⚠ 注意

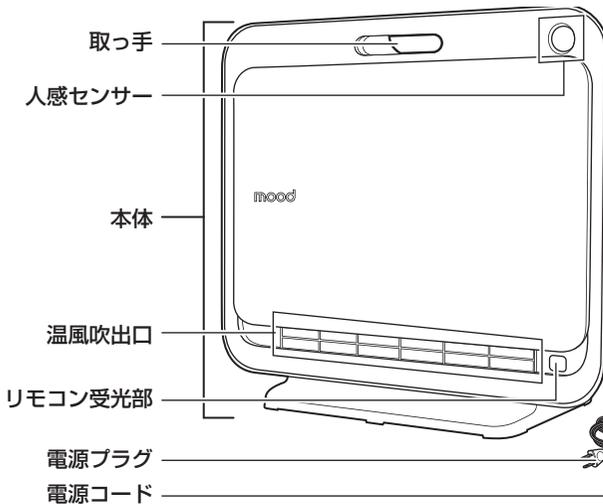
 禁止	お手入れや持ち運び、保存の際は、本体が冷めてから行なう。 火災ややけどの原因になることがあります。	 禁止	リモコンの電池は直射日光が当たる場所など高温になる場所に置かない、火の中に入れてない。 液もれや破裂・火災などの原因となります。
	壁や家具の近くで使わない。 熱で壁や家具が変形・変色したり、火災の原因になることがあります。		電源プラグを抜くときは電源コードを持たずに必ず電源プラグをもって引き抜く。 感電やショートの原因になることがあります。
	不安定な場所や熱に弱い敷物の上で使わない。 けがや火災の原因になることがあります。		運転をする際は、必ずフィルターを取り付ける。 フィルターを取り付けずに運転すると、火災や故障の原因になることがあります。
	カーテンやふとんなど、燃えやすいものの近くで使わない。 火災の原因になることがあります。	 指示	リモコンの電池は⊕⊖を正しく入れる。 間違えて入れると、故障するだけでなく、液もれや爆発の原因となります。
	乾燥など他の用途に使用しない。 過熱して発火の原因になることがあります。		長時間使用しないときはリモコンの電池を抜く。 長時間入れたままにしておくと、液漏れによって内部を汚したり、破裂による火災やけがの原因になります。
	使用中は本体から離れない。 火災の原因になることがあります。		リモコンを廃棄するときは、電池を抜く。 そのまま廃棄すると、思わぬ事故の原因となります。電池は各地方自治体の指示に従って処分してください。
	犬やネコなどのペット暖房用には使用しない。 ペットが本体や電源コードなどを傷め、火災の原因になることがあります。	 めれ手禁止	電池の交換は濡れた手で行なわない。温度の高いところでは行なわない。 リモコン内部に水滴が付き、故障の原因となります。
	お手入れの際は住宅用洗剤・シンナー・ベンジン・アルコール・磨き粉などを使わない。 変色・変形・感電・故障の原因になります。	 接触禁止	使用中や使用後しばらくは、温風・送風吹き出し口(高温部)に触れない。 やけどの原因になることがあります。
リモコンの電池は指定以外の電池を使用しない。 液もれなどの原因になります。			

各部の名称とはたらき

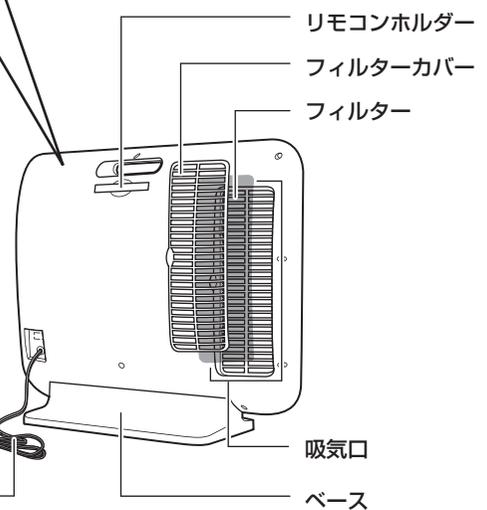
操作部



前面



背面



付属品

リモコン×1

ボタン形リチウム電池 (CR2032) ×1



切り忘れ防止機能

本体またはリモコンを最後に操作してから約12時間経過すると、運転が自動的に停止します。
※センサー運転モードでは切り忘れ防止機能は働きません。

人感センサーについて (「センサー運転」時のみ有効)

人の動きを感知して自動的に運転を開始します。人がいなくなると、約2分後に運転が停止します。

※センサー感知範囲は左右約90度、上角度約30度、下角度約30度、センサー到達範囲は2m以内です。

安全装置について

- 使用中に転倒した場合は、転倒オフスイッチが働き電源を切ります。
 - 温度が上昇しすぎると、サーモスタットが働き、自動的に運転を停止します。(温度が下がると運転を開始します。)
- さらに温度が上昇すると、温度ヒューズが働き、運転回路を遮断します。(温度が下がっても運転は開始されません。販売店またはドウシヤサービスセンター(裏表紙参照)にご連絡ください。)

⚠️ 注意

- 使用中は本体から離れない。
- 本体を移動させる場合は、本体が冷めてから取っ手を持って移動させる。
- 使用中や使用後しばらくは、温風吹出口に触れない。

正しい使いかた

使用前の準備

リモコンに電池を入れる

1. 電池ボックスをリモコン本体から引き出す①

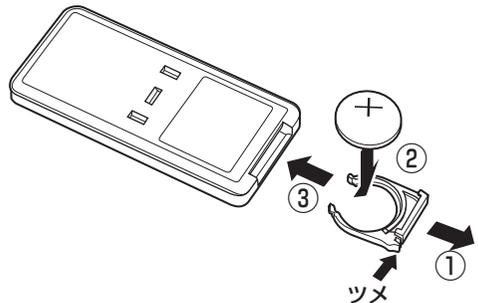
電池ボックスのツメを内側に倒すようにして引き出します。

2. 電池の⊕⊖の向きに注意して電池ボックスにセットする②

電池の⊕側を上にしてセットしてください。

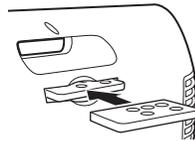
3. 電池ボックスをリモコン本体に差し込む③

カチッと音がするまで差し込んでください。



使用可能範囲

- 本体正面から直線で約 6 m
- 本体正面から左右に約 30 度
- リモコンと本体の間に障害物がある場合は、リモコンが正常に動作しないことがあります。



本体裏側、取っ手の下にリモコンホルダーがあります
使用しないときはここに入れておきます

注意

- 電池の寿命を長くするため、長時間使わないときは電池を取りはずす。
- 電池の破裂や液もれを防ぐため、⊕⊖を正しく入れる。
- 電池の充電・ショート・分解・火への投入・加熱などはしない。
- 万一、液もれが起こったときは、よくふき取ってから新しい電池を入れる。

設置する

1. 本体を水平な場所に設置する

安定した水平な場所に設置してください(右図)。

※ 近くに可燃物がないことを確認し、可燃物がある場合は、移動させてからご使用ください。

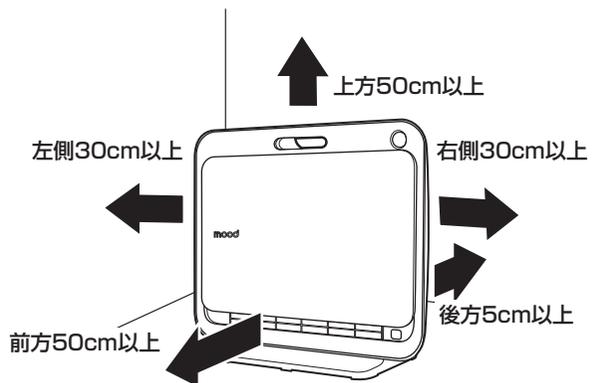
※ 本体を動かすとカラカラと音がすることがありますが、これは転倒オフスイッチ(安全装置)の音であり、異常ではありません。

2. 電源プラグをコンセントに差し込む

• “ピー、ピー”という音が出ます。

• 電源ランプが点灯します。

本製品は壁や周囲から適当な距離を保ってください。(火災の原因になります)



次のような場所では使用しないでください。

※ 毛足の長いカーペットや座布団の上などの不安定な場所(本体が傾いたり、浮いたりして、転倒や転倒オフスイッチの誤動作の原因になります。)

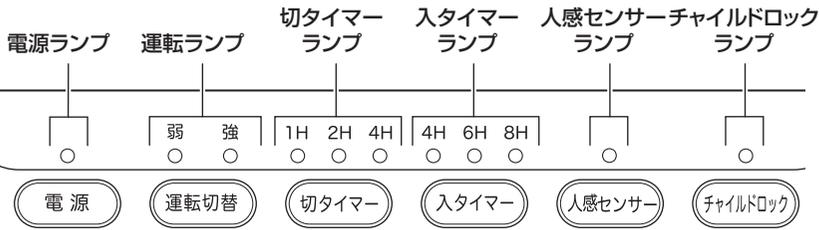
※ カーテンなどが吸気口をふさいだりしないように、十分に離して設置してください。

警告

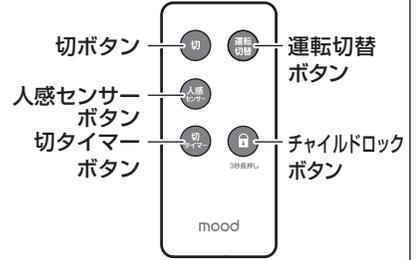
- 定格 15A 以上の壁コンセントを単独で使用する。
他の器具と併用するとコンセント部が異常発熱して発火することがあります。
- 本体に衣類などをかけて使用しない。
火災ややけど、本機の故障の原因になります。
- 電源コードを束ねたまま使用しない。
電源コードの発熱、発火のおそれがあります。
- 外出等で本体から長時間離れるときは、電源プラグをコンセントから抜く。
安全装置が働いて、ヒーターが停止していることがあります。温度が下がると自動的に運転を開始しますので、消し忘れや火災の原因になります。

正しい使いかた（つづき）

操作部



リモコン



運転の開始／停止

1. 本体の電源ボタン（電源）を押して運転を開始する

電源ボタン（電源）を押すと、「強」（1200W）運転を開始します。

- ・運転ランプ「強」が点灯します。
- ・リモコンでは運転開始させることができませんので、必ず本体の電源ボタン（電源）から運転を開始させます。

2. 運転切替ボタン（運転切替）（リモコン（運転切替））を押して、「強」「弱」を切り替える

運転切替ボタン（運転切替）（リモコン（運転切替））を押すごとに「強」（1200W）と「弱」（600W）運転を切り替えることができます。

- ・運転ランプ「強」と「弱」が切り替わります。
- ・「強」と「弱」を切り替えても、風量は変化しません。

運転切替ボタン（運転切替）（リモコン（運転切替））を押すたびに



3. 電源ボタン（電源）（リモコン（切））を押して運転を停止する

電源ボタン（電源）（リモコン（切））を押してから約10秒間、ヒーターを冷やすため、ファンが回り続けます。

- ・電源ランプは点灯したままです。
- ・電源ボタン（電源）（リモコン（切））を押して電源を切っただけでは待機電力を消費します。使用を終わったら、電源プラグを抜いてください。

4. 電源プラグを抜く

ファンが停止したことを確認してから電源プラグを抜いてください。

切り忘れ防止機能

本体またはリモコンを最後に操作してから約12時間経過すると、運転が自動的に停止します。

※センサー運転モードでは切り忘れ防止機能は動きません。

切タイマーの設定

設定した時間になると自動的に電源を切る、切タイマーを設定することができます。

1. 切タイマーを設定するときは、切タイマーボタン(切タイマー) (リモコン(切タイマー))を押して切タイマーの時間を設定する

切タイマーボタン(切タイマー) (リモコン(切タイマー)) を押した回数により、切タイマーの時間を設定することができます。

・切タイマーを設定したのち、時間の経過とともに、切タイマーが働くまでの時間を表示します。

2. 切タイマーをキャンセルするには、切タイマーボタン(切タイマー) (リモコン(切タイマー))を何回か押して、切タイマーランプを消灯させる

切タイマーボタン(切タイマー) (リモコン(切タイマー))を押すたびに



切タイマーランプは時間がたつと



入タイマーの設定

設定した時間になると自動的に電源が入る、入タイマーを設定することができます。

※入タイマーは、リモコンで設定することができません。

1. 入タイマーを設定するときは、運転が停止した状態で、入タイマーボタン(入タイマー)を押して入タイマーの時間を設定する

入タイマーボタン(入タイマー)を押した回数により、入タイマーの時間を設定することができます。

・入タイマーを設定したのち、時間の経過とともに、入タイマーが働くまでの時間を表示します。
・電源が入っている状態では設定をすることができません。

2. 運転切替ボタン(運転切替)を押して、電源が入ったときの「強」「弱」の設定をする

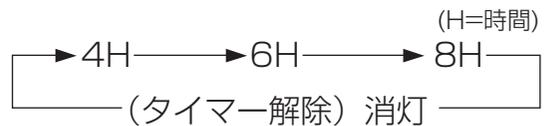
運転ランプの「強」または「弱」が点滅します。

3. センサー運転モードに設定するときには、人感センサーボタン(人感センサー) (リモコン(人感センサー))を押す

人感センサーボタン(人感センサー) (リモコン(人感センサー))を押すと、人感センサーランプが点滅します。

4. 入タイマーをキャンセルするには、入タイマーボタン(入タイマー)を何回か押して、入タイマーランプを消灯させる

入タイマーボタン(入タイマー)を押すたびに



入タイマーランプは時間がたつと



正しい使いかた（つづき）

センサー運転モードを使用する

人の動きを感知して、自動的に運転を停止・開始を行ないます。

1. センサー運転モードにするには、運転中または入タイマー待機中に人感センサーボタン(人感センサー) (リモコン(人感センサー))を押す

「ピッ」と音がして、人感センサーランプが点灯し、センサー運転モード設定されます。

- センサー運転モード中、運転切替ボタン(運転切替) (リモコン(運転切替))を押して「強」(1200W)と「弱」(600W)運転を切り替えることができます。
- 切タイマーボタン(切タイマー) (リモコン(切タイマー))で切タイマーを設定することもできます。

2. センサー運転モードをやめるには、再度、運転中または入タイマー待機中に人感センサーボタン(人感センサー) (リモコン(人感センサー))を押す

「ピッ」と音がして、人感センサーランプが消灯し、センサー運転モードが解除されます。

チャイルドロックを使用する

幼児などが不用意にボタンに触れて設定が変わってしまうのを防ぎます。

1. 停止中または運転中にチャイルドロックボタン(チャイルドロック) (リモコン(チャイルドロック))を長押し(3秒以上)する

- 「ピッ」と音がして、チャイルドロック表示ランプが点灯し、チャイルドロックが設定されます。
- この状態でボタンに触れても、設定が変更されることはありません。
- ただし、転倒して転倒オフスイッチによって電源が切れると、チャイルドロックも解除になります。

2. チャイルドロックを解除するには、再度、チャイルドロックボタン(チャイルドロック) (リモコン(チャイルドロック))を長押し(3秒以上)する

「ピッ」と音がしてチャイルドロック表示ランプが消灯し、チャイルドロックが解除されます。

センサー運転モード

人の動きを感知して自動的に運転・停止を行ないます。

人を感知しなくなってから約2分後に運転が停止し、約10秒送風運転したあと、運転が停止します。

• 人感センサーランプが点灯から点滅に変わり、待機状態になります。

待機状態のときに、人の動きを感知すると、待機前と同じ運転を再開します。

• 人感センサーランプは点灯に替わります。

※ センサー感知範囲は左右約90度、上角度約30度、下角度約30度、センサー到達範囲は2m以内です。

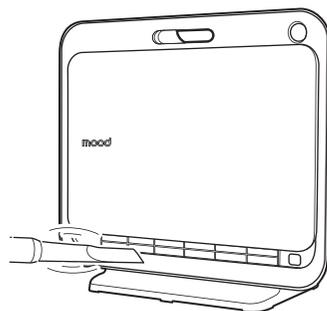
お手入れと保存



警告 お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜き、本体が冷めたことを確認する。
感電やけが、やけどの原因になります。

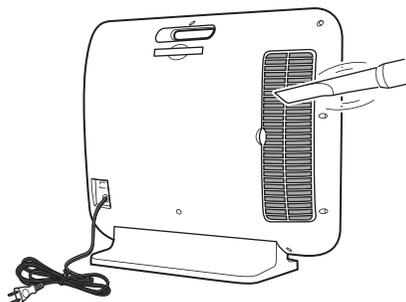
お願い

- ※ 住宅用洗剤やシンナー、ベンジン、アルコール、磨き粉などは絶対に使わないでください。
- ※ 化学ぞうきんを使用する場合は、その注意書きにしたがってください。変質・変形の原因になります。
- ※ 本体に直接、水をかけて洗わないでください。(感電・故障の原因になります。)



本体のお手入れ

本体の汚れは、ぬるま湯か台所用洗剤に浸してかたくしぼった柔らかい布でふきとり、さらに乾いた布でやさしくからぶきをしてください。(樹脂部分は強くこすらないでください。傷つきの原因となることがあります。)



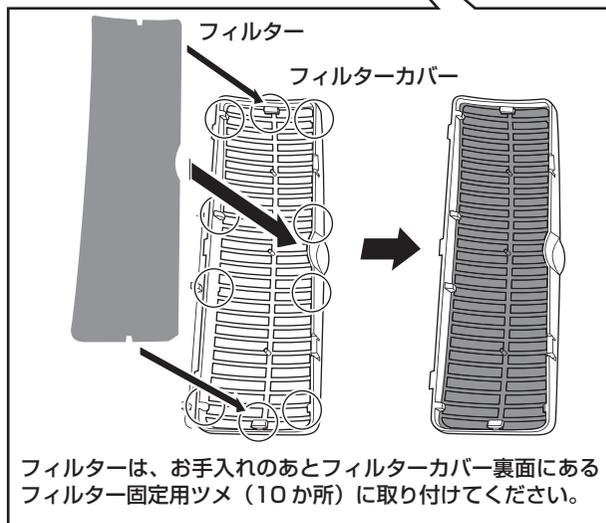
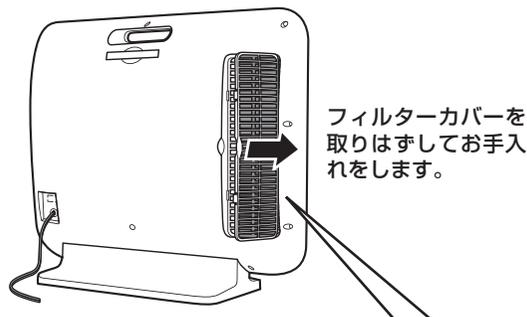
吸気口／温風吹出口のお手入れ

掃除機でホコリを吸い取ってください。

フィルターのお手入れ

下記の手順に従って行ってください。

- ① 本体からフィルターカバーを取りはずす。
 - ② フィルターカバーからフィルターを取りはずす。
 - ③ フィルターのゴミやホコリを手や掃除機でていねいに取り除く。
※ フィルターの汚れがひどい時は、ていねいに水洗い(手洗い)をしてください。強くこすったり、ねじらないでください。破損の原因となることがあります。
 - ④ フィルターカバーにフィルターを取り付ける。
※ フィルターを水洗いした場合は、十分に乾燥させてから取り付けてください。
 - ⑤ フィルターカバーを本体へ取り付ける。
- ※ お手入れのあとは、必ずフィルターとフィルターカバーを本体に取り付けてください。



お手入れと保存（つづき）

フィルターの交換

フィルターをお求めの際は、本体お買い上げの販売店またはドウシシャサービスセンター（裏表紙参照）にお問い合わせください。

※ フィルターは消耗品ですので、保証期間中でも「有料」とさせていただきます。

【フィルター】

破れたり、汚れがひどくなったり、紛失した場合は、フィルターを購入してください。

※ フィルターは水洗いできます。

商品名：フィルター（1 個）

FT-LA04

メーカー希望小売価格 ¥525（税込）

保存のしかた

※ お手入れの後、よく乾燥させてください。

※ ポリ袋などに入れ、取扱説明書とともにお買い上げ時の箱に入れ、湿気の少ない場所に保存してください。

修理・サービスを依頼する前に

⚠ 警告 修理技術者以外の方は分解したり修理をしない。

「故障かな?」と思ったときには次の点をお調べください。

症状	主な原因	処置
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> 電源プラグがコンセントに差し込まれていない 安定した水平な場所に置かれていない(転倒オフスイッチが働いている) 安全装置(温度ヒューズ)が働いている(4ページをご参照ください) 	<p>電源プラグをしっかり差し込んでください</p> <p>置き場所を確認してください(安定した水平な場所に置く)</p> <p>販売店またはドウシシャサービスセンター(裏表紙参照)にご連絡ください</p>
電源ボタン(電源) (リモコン切) で切にしているのに運転停止している	<ul style="list-style-type: none"> 切り忘れ防止機能で運転停止した 切タイマーが作動した 	<p>最終操作から約12時間経過すると、運転が自動的に停止する機能で停止したので、再度電源ボタン(電源)を押して運転を開始します</p> <p>問題ありません。再度電源ボタン(電源)を押して運転を開始します</p>
電源ボタン(電源)で入にしているのに運転開始した	<ul style="list-style-type: none"> 入タイマーが作動した 人感センサーのセンサー運転モードが設定されていて、動作を開始した 	<p>問題ありません。</p> <p>人感センサーボタン(人感センサー) (リモコン切)を押してセンサー運転モードを解除するか電源ボタン(電源) (リモコン切)を押して電源を切ってください</p>
入タイマーで運転開始しない	<ul style="list-style-type: none"> 入タイマー待機中、何らかの形で電源が切れた、または本体を傾けて転倒オフスイッチがはたらいた 	<p>入タイマー待機中、電源が切れると入タイマーはキャンセルされ、通常の切状態になります</p>
電源ボタン(電源) (リモコン切) を押して運転停止しても、ファンが回っている	<ul style="list-style-type: none"> ヒーターを冷やすために運転停止にしてもファンが回ったままになります 	<p>ファンが回っているのが10秒程度なら問題ありません</p>
時間がたつとランプが暗くなる	<ul style="list-style-type: none"> 最後に操作を行ってから約1分でランプが減光するようになっています 	<p>問題ありません</p>
リモコンで操作できない	<ul style="list-style-type: none"> リモコンの電池が切れている リモコンの電池の極性⊕⊖を間違えている リモコンの操作できる範囲外から操作している チャイルドロックが設定されている 	<p>リモコンの電池を交換する</p> <p>リモコンの電池の極性⊕⊖を確認して、正しく入れなおす</p> <p>本体の受光部に近づける、受光部に対して動作できる角度で操作する</p> <p>チャイルドロックを解除する</p>

長年ご使用のヒーターはよく点検を

このような症状はありませんか?

- ・電源コードや電源プラグが異常に熱い。
- ・電源コードを動かすと、通電したり、しなかったりする。
- ・こげ臭い匂いがする。
- ・その他の異常・故障がある。

このような症状の時は、事故防止のため、すぐに電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店またはドウシシャサービスセンターに点検をご相談ください。